


 😊家読（うちどく）はじめてみませんか？😊

【小学生低学年向け】

♣保護者の皆様へ♣

第6号（令和6年12月発行）芦別市立図書館

◆幸せに生きるための贈り物◆

子どもが生まれた時は、「健康に育ててほしい」と願っていたのに、いつのまにか多くのことを望むようになります。大きくなるにつれて、他の子と比べてはできないことが気になってはいませんか。

成長には個人差があり、個性もそれぞれ。子どもが幸せに生きるために、これから必要となる能力を身に付けてあげられたら良いですね。

本は心の豊かさを育てます。本の読み聞かせで楽しいことを知ると、自ら本を読むようになり、多くのことを知る機会が増えます。読書の習慣付けは、親から子どもへのやさしい「贈り物」です。

「子どもといっしょに読書」

★楽しい読み聞かせ★

毎日することがたくさんあって、読書の時間を作るのは大変です。

成長期には、睡眠を十分にとることが大切ですが、冬休みはクリスマスやお正月など、楽しいイベントが多く、寝る時間がいつい遅くなりがち。そんな時、寝る前の楽しみを作ってみるのはいかがでしょうか。

例えば、9時に布団に入ったら1冊、8時なら2冊…と読み聞かせの本の冊数を決めて、誘ってみるという方法もあります。

寝る時間も早くなり、本を読む時間もできます。読む本を子どもに選んでもらうと、楽しい読み聞かせタイムになります。

★なぜには本がおすすめ★

子どもたちは、分からないことがあると、「なぜ？」と聞いてきますが、年齢が上がるほど質問も難しくなり、子どもに分かるように説明するのはとても大変です。

そんな時は、本を読んであげることをお勧めします。

SDGsやLGBTなど最近テレビで取り上げられるテーマの本もたくさん出版されています。様々なテーマの本が出版されているので、「なぜ？」の答えが見つかります。

子どもの本は、絵や写真が多く、簡潔にわかりやすく書かれています。色々な学びがあり、大人にもお勧めです。

★本選びに迷ったら★

読みたい本が見つからない時は、新刊本や特集コーナーなどをみてください。本のガイドブックやパンフレットもそろえています。

「面白そうだね」の一言で、本との出会いが始まります。

★知る楽しさ★

興味を持っていることや疑問に思っていることがあったら、子どもが調べられるように、手助けをしてあげましょう。自分で答えを見つけた経験は、進んで取り組む意欲的な気持ちを育てます。

小学校低学年向け おすすめ本のリスト

1年生におすすめの本

だいすきだよ



「ふたりはともだち」

作・絵：アーノルド・ローベル
出版社：文化出版局

にげろ！

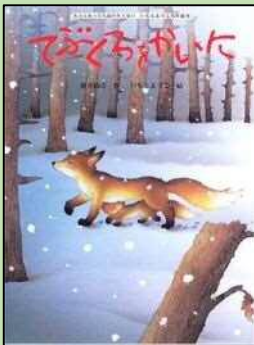


「シートンどうぶつ記 9
ギザ耳ウサギ」

作：シートン
出版社：あすなる書房

2年生におすすめの本

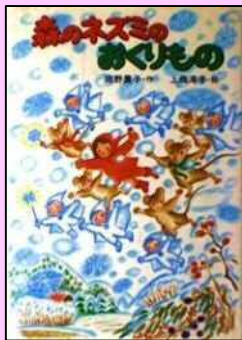
人間はいいもの？



「てぶくろをかいに」

作：新美南吉 絵：いもとようこ
出版社：白泉社

すてきな思いつき

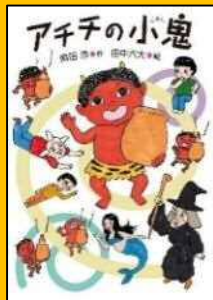


「森のネズミのおくりもの」

作：岡野薫子 絵：上條滝子
出版社：ポプラ社

3年生におすすめの本

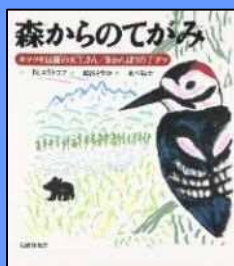
おじいちゃんはすごい



「アチチの小鬼」

作：岡田淳 絵：田中六大
出版社：偕成社

だれのおうち？



「森からのてがみ」

作：ニコライ・スラトコフ
絵：あべ弘士
出版社：福音館書店

知るっておもしろい！

雪は色々な形をしています。できる場所や形で名前がちがいます。寒くて雪がたくさんふるところでは、色々な工夫をして暮らしています。動物たちが寒さから身を守るためにしていることを知りたくありませんか？

冬を知る本

「おかしなゆき ふしぎなこおり」

写真・文：片平孝（ポプラ社）

ふしぎな形にびっくり

「ふゆとみずのまほう こおり」

写真・文：片平孝（ポプラ社）

キラキラ光ってとっても

きれいなこおり

「あっ！ゆきだ」

作：フランクリン M. ブランリー

絵：ホリー・ケラー（福音館書店）

雪はやくにたつの？

「ゆきとトナカイのうた」

作・絵：ボディル・ハグブリンク

（ポプラ社）

トナカイといっしょに生きる

「あいたいなシマエナガ」

写真・映像：山本光一（世界文化社）

シマエナガのひみつを知らう！

「ゆきのひ」

作・絵：加古里子（福音館書店）

むかしの雪国の生活

「ペンギンの国へごしょうたい」

文・写真：中村庸夫（旺文社）

ペンギンのほいくえん???

「キタキツネ」

文・写真：久保敬親（新日本出版社）

キタキツネの赤ちゃんが

生まれた…

